外国の文学

Literature of
foreign country

半分のふるさと
- 私が日本にいたときのこと -

イサンクム 作　帆足次郎 画

福音館書店

日本で生まれ育った朝鮮人キマにとっては、日本もふるさと。
しかしその日本でいじめや差別にあう。どんな時も民族の誇りを持てと母親に励まされながら生きた子ども時代の体験を、キマが真摯に語る。

弟の戦争

ロバート･ウェストール 作
原田勝 訳

徳間書店

弟には、小さい頃から不思議なところがあった。そして弟が12歳になり、アメリカとイラクの戦争が起こった時、事件が起こる。ある晩、弟が別人のようになり、突然アラビア語を話し始めたのだ。

ヒース咲く丘のホスピスから

レナーテ･ヴエルシュ 作
松沢あさか 訳

さ･え･ら書房

15歳のニッケルは祖母の入院するホスピスで、夏休みの間、手伝いをすることに。そこでの出来事を同級生の少年にあてた手紙につづる。ホスピスでの出会いが彼女をどう変えていったのか？

リバウンド

エリック･ウォルターズ 作
小梨直 訳　深川直美 画

福音館書店

問題児で停学寸前だったショーンは、新学期、またケンカ騒ぎを起こしてしまった。相手は車いすの転校生。実は有名なバスケット選手だったが、交通事故にあって選手生命を絶たれたのだった。ショーンは彼のサポートをかってでるが…。

ベーグル・チームの作戦

E．L．カニグズバーグ 作
松永ふみ子 訳

岩波書店

ママがぼくらの野球チームの監督に、兄さんがコーチになってしまったから、さあ大変！！12歳のマークは家でもチームでも微妙な立場に立たされる。リトルリーグのワンシーズンをユーモアを交えて描いた作品。

漂泊の王の伝説

ラウラ･ガジェゴ･ガルシア 作
松下直弘 訳

偕成社

詩のコンクールで貧しい絨毯(じゅうたん)織りに敗れ、夢と名誉を失った王子ワリード。憎しみに駆られた王子は､絨毯織りに“人類の歴史をすべて織り込んだ絨毯”を織るように命じた。

影の王

スーザン･クーパー 作
井辻朱美 訳　小西英子 画

偕成社

シェイクスピア劇に出演する少年俳優ナットは、公演で訪れたロンドンで、十六世紀にタイムスリップしてしまう。そこでシェイクスピア本人からけいこをつけてもらい、真新しいグローブ座の舞台に立つことに。

笑いを売った少年

ジェイムス･クリュス 著
森川弘子 訳･解説

未知谷

シャックリつきの素敵な笑いを持った少年ティムは、どんな賭けにも勝てる力と引き換えに、自分の笑いを謎の紳士に売ってしまう。笑いが人間にとってなくてはならないものだと気づいたティムは、笑いを取り戻す旅に出た。

さよならを待つふたりのために

ジョン･グリーン 著
金原瑞人, 竹内茜 訳

岩波書店

がん患者同士の集まりで出会った、16歳のヘイゼルと17歳のオーガスタスの恋の物語。ヘイゼルは愛読書の続きが知りたくて作者宛てに何度も手紙を書くが、返事は一向に来ない。それを知ったオーガスタスはある提案をする。

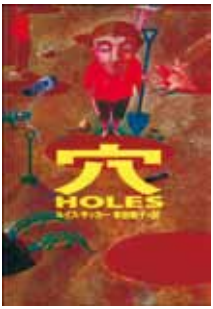
ピアノ調律師

M．B．ゴフスタイン 作･絵　末盛千枝子 訳

現代企画室

デビーのおじいちゃんは､世界一のピアノ調律師。デビーも、そうなるのが夢です。でもおじいちゃんは、デビーにはピアニストになってほしいと願っていました。ある日ピアノのコンサートに出かけたデビーは、なりたいものを見つけました。それは…？

穴



ルイス･サッカー 作
幸田敦子 訳
講談社

無実の罪で矯正キャンプにつれてこられたスタンリー。そこでの日課は、かちんこちんの地面に大きな穴を掘ること。しかしそれには人格形成のため以外の目的もあるらしい…。
＊続刊あります。

イルカの家

ローズマリー・サトクリフ 著
乾侑美子 訳
評論社

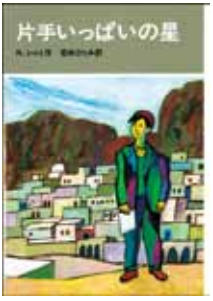
大航海時代のイギリス。孤児になった少女タムシンは、ロンドンのおじの家にひきとられます。男の子だったら、船乗りになって世界中を航海するのに、と願いながらも、タムシンは少しずつ自分の居場所を見つけていきます。

青空のむこう

アレックス･シアラー 著
金原瑞人 訳
求龍堂

ぼくは、死者の国にいる。自転車に乗ってたら、トラックとぶつかって死んじゃったんだ。でもぼくは、ちょっとだけでいいから生きてたときの世界に帰りたかった。ちゃんとお別れを言うために。大切なことを感じさせてくれる物語。

片手いっぱいの星



ラフィク･シャミ 作
若林ひとみ 訳
岩波書店

舞台は 1960 年代のシリアの首都ダマスカス、13才のぼくは日記をつづります。友だちのこと、新聞記者になる夢のこと、尊敬するサリームじいさんのこと…。過酷な状況の中でこそ、いっそう輝く希望の物語。

川の上で

ヘルマン・シュルツ 作
渡辺広佐 訳
徳間書店

1930 年代、東アフリカ。小さな村に赴任したドイツ人宣教師は、妻を熱病で亡くした。死に瀕している一人娘を一刻も早く町の病院へと、小舟で川へ漕ぎ出す。自然と宗教、異文化との出会いを考えさせられる一冊。

ダークホルムの闇の君

※現在書店等での購入はできません。お近くの図書館等でお探しください。

ダイアナ･ウィン･ジョーンズ 著
浅羽莢子 訳
創元推理文庫

異世界から冒険者気分の観光団がやってくるようになり、魔法世界ダークホルムはめちゃくちゃに。町や畑は荒れ、諸国の財政も破産寸前。お告げにより、今年の悪の魔術師役に選ばれたダークは、見事世界を救うことができるか！？

マルセロ・イン・ザ・リアルワールド

フランシスコ・X. ストーク 作
千葉茂樹 訳

岩波書店

発達障害のある17歳のマルセロは、夏休みに父親の法律事務所で働くことになってしまった。ジャスミンというさっぱりとした女の子が相棒でほっとする彼だったが、事務所の裏で起こっている秘密に迫ってしまって……

ユゴーの不思議な発明

ブライアン・セルズニック 作
金原瑞人 訳

アスペクト

パリの駅に隠れ住む、時計係の孤児ユゴー。ユゴーは駅のおもちゃ屋で盗みに失敗し、店主に大切なノートを奪われてしまう―。イラストとイラストが物語をつなぐ、まるで一編の映画のような本です。

王への手紙 上･下

トンケ・ドラフト 作
西村由美 訳

岩波書店

騎士になる試練の夜、16 才のティウリは見知らぬ者の依頼で、一通の手紙を大山脈のかなたへ届ける旅に出る。信頼、勇気、友情、使命感、うずまく陰謀…。ティウリは冒険を通して大きく成長していく。

モギ
- ちいさな焼きもの師 -

リンダ･スー･パーク 著
片岡しのぶ 訳

あすなろ書房

12 世紀後半の韓国。みなしごのモギは橋の下で片足が不自由な老人に育てられる。その日暮らしを送るモギだが、名焼きもの師ミンの作る青磁(せいじ)の輝きが、彼の運命を変えることに…。

夜中に犬に起こった奇妙な事件

マーク･ハッドン 著
小尾芙佐 訳

早川書房

突然予定が変わるとパニックを起こし、一度嫌いになった人とはつきあわない。納得いかない決まりには従わないし、人の怒りに気づかない。そんな少年が隣家の犬を殺した犯人を捜すことになって‥‥。

ジェンナ 奇跡を生きる少女

メアリ・E・ピアソン 著
三辺律子 訳

小学館

深い闇から目覚めたジェンナは、自分が1年半前に事故に遭い、全ての記憶を失っていることを知る。過去を思い出すにつれ新たな謎が生まれていく。自分はどうなっているのか。そして、ついに恐ろしい秘密を知る。

キーパー

マル・ピート 著
池央耿 訳

評論社

南米の辺境に育ったエル・ガトー。サッカーの落ちこぼれ少年だった彼が、世界最高のゴールキーパーになった陰には、ある秘密があった。密林の熱気とサッカーへの情熱。ファンならずとも楽しめる。

僕らの事情。

デイヴィッド・ヒル 著
田中亜希子 訳

求龍堂

筋ジストロフィーという病気で車椅子生活を送るサイモンは、明るい性格でクラスの人気者。そんなサイモンといつも一緒にいるネイサンは…。明るく前向きに生きる二人がとても素敵な、青春小説です。

海辺の宝もの

ヘレン・ブッシュ 著
鳥見真生 訳

あすなろ書房

舞台は約２００年前のイギリス。海辺の村で暮らすメアリーは「変わり石集め」が大好きな、ちょっと変わった女の子。ある日、メアリーは世界的な大発見をする。世界初の女性化石採集者メアリー・アニングの物語。

風をつむぐ少年

ポール・フライシュマン 著
片岡しのぶ 訳

あすなろ書房

転校の多いブレントはいつも見かけを気にしている。ある日、仲間に侮辱された彼は無謀な車の運転で一人の少女を死なせてしまう。彼にできる罪の償い、それはアメリカの四隅に、風で動く少女の人形を立てることだった。

ビリー・ジョーの大地

カレン・ヘス 著
伊藤比呂美 訳

理論社

大恐慌時代のアメリカ。１４歳の少女ビリー・ジョーは、無口な父と、厳格だがピアノ上手な母と3人で暮らしている。もうすぐ赤ちゃんも生まれるというある日、悲劇がこの一家を襲い……。

豚の死なない日［正］·続

ロバート·ニュートン·ペック 著
金原瑞人 訳

白水社

12才のマークは茂みで牝牛の出産に出くわす。このままだと親子共危ないと、死にもの狂いで出産にこぎつける。お礼にもらった子豚との楽しい日々、農場の厳しい暮らし、強い絆の家族の物語をユーモアを交えて語る。

トワイライト 1～4

ステファニー·メイヤー 著
小原亜美 訳

ヴィレッジブックス

転校先の学校で、超美形の少年に出会い心惹かれるベラ。ある日事故に遭いそうなところを、エドワードの人間離れした早業と力によって助けられたベラは、彼の正体に強い疑問を抱く。

あのころはフリードリヒがいた

ハンス·ペーター·リヒター 作
上田真而子 訳

岩波書店

ナチス・ドイツ時代。「ぼく」とフリードリヒは同じアパートに住んでいる幼なじみ。しかしユダヤ人の彼は徐々に国家政策により追いつめられていく。容赦ない差別。そのとき「ぼく」の目の前でなにが起こったのか？

ギヴァー
―記憶を注ぐ者―

ロイス·ローリー 著
島津やよい 訳

新評論

飢えも貧困も争いも無く、誰もが満ち足りた生活を送っている管理社会。〈12歳の儀式〉により、ただ1人“記憶の器（レシーヴァー）”に任命された少年ジョナスは、この社会に隠された真実を知ることになり……。

・このパンフレットで紹介している本は、原則として平成29年8月現在、書店等で購入できるものです。ただし、一部品切れの本については、注意書きをつけました。
・お近くの公共図書館等で、紹介した本を借りることができます。